

入学者受入方針

入学者選抜方針（アドミッション・ポリシー）

芸術学部

（「大阪芸術大学の教育目的、教育目標及び3つのポリシーに関する規程」別表3、別表4 抜粋）

芸術学部	<p>本学は入学者の受入れについて、教育目的の達成に必要な下記の資質を評価基準とし、これを多面的な方法により審査する。</p> <p>「美を追究するマインド」— 美への探究心／創作・表現活動への好奇心と意欲</p> <p>「創造性と独創性」— 基本的な知識と技術／自由な発想と創造力</p> <p>「社会創造・社会貢献へのマインド」— 他者・地域・社会への興味／コミュニケーション能力</p> <p>「境界領域への開拓精神」— 広い視野／異分野への好奇心</p>
美術学科	<p>美術学科では、多彩な芸術表現に触れ、芸術家として確かな基礎を築き、自らのテーマ・表現方法により社会での活躍を目指す人物を求める。</p> <p>【求める学生像】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美を探究し、創作、表現への好奇心と意欲や喜び、楽しみが感じられる人物 ・自発的な独自の個性がうかがえる人物 ・社会への貢献、他者や地域の人々に芸術のこころを伝達する意志がある人物 ・広い視野に満ち、異分野への好奇心、進取の気風に満ちた創造力を持つ人物
デザイン学科	<p>デザイン学科では、社会や生活とのかかわりに興味を持ち、「知りたい」「作りたい」「発信したい」などの意欲をもって工夫し、表現できる人物を求める。</p> <p>【求める学生像】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デザイン表現やコンセプト構築に興味のある人物 ・自己の感性、創造力、表現力を伸ばしたい人物 ・主体的に知識、技術を修得する意志のある人物 ・新たな課題解決に挑戦し続ける意欲・推進力のある人物
建築学科	<p>建築学科では、総合芸術大学という環境を活かし、豊かな暮らしや新しい空間を提案できる芸術性豊かな建築家の育成を目指す。人間と環境を関係づける建築や都市のあり方に関心を持ち、広い意味での建築の創造を志す人物を求める。</p> <p>【求める学生像】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築・都市・それらの環境に好奇心を持つ人物 ・ものをつくるのが好きで、自由に豊かな発想と創造力を磨きたい人物 ・プレゼンテーション・コミュニケーション能力を伸ばしたい人物 ・建築、及び環境における自身の得意な分野を伸ばす意欲と熱意のある人物
文芸学科	<p>文芸学科では、小説、詩、脚本、研究、文芸批評、出版、翻訳など多彩な分野で活躍する教員の指導のもと、言葉のセンスを鍛え、読みの深さ、豊かな書く力を育成する。日本語表現の魅力、豊かさに目覚めた人物を求める。</p> <p>【求める学生像】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本を読むことで、感動することのできる人物 ・文章を書き、思索することに心をとくめかすことができる人物 ・自身が書いた文章や物語を他者に伝えることに喜びを感じられる人物 ・豊かな文章表現力と多角的な読解力を身につけたい人物
放送学科	<p>放送学科では、最新機器／設備と多彩な指導者のもと、「人々に伝えるべきこと（ジャーナリズム）」や「人々が興味をいだくこと（エンターテインメント）」を発見し、それを魅力的な表現で発信する、メディアコンテンツクリエイターの育成を目指す。そのために、世の中に対する「あくなき好奇心」と、見つけたテーマを「人々に伝えたい」と思う熱い意欲を持つ人物を求める。</p> <p>【求める学生像】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旺盛な好奇心と探究心を備えている人物 ・メディアを駆使して広く社会に発信することに関心がある人物 ・声の力、言葉の力、映像の力を用いて、表現をしたいという情熱がある人物 ・チームで作品を創り上げる楽しさを求める心を持つ人物
写真学科	<p>写真学科では、芸術や情報メディアとして幅広い可能性を持つ写真の領域を理解し、エキスパートとしての将来を意識して専門性を培うことのできる人物を求める。</p> <p>【求める学生像】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業後の進路に明確な志望を持ち、それに向けて努力できる人物 ・写真に関わる知識や技術、表現方法などに強い探求心を持つ人物 ・オリジナリティある写真表現の追究と創造に意欲のある人物 ・広告写真、写真史や写真論などの理論分野にも興味がある人物

<p>工芸学科</p>	<p>工芸学科では、伝統技法や技術を積極的に取り入れて、時代に適した新しい“ものづくり”に取り組む人物、実際の“ものづくり”の体験を活かし、デザイン・企画などのクリエイティブな職業を通して社会での活躍を目指す人物を求める。</p> <p>【求める学生像】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自身の個性や感性を発見したい人物 ・ものを作ろうとする強い思いや意志を持った人物 ・“ものづくり”の体験を活かし、クリエイティブな仕事に関わりたい人物 ・“美しさ”にこだわりを持ち、社会で生きていく人物
<p>映像学科</p>	<p>映像学科では、企画、監督、脚本、撮影、照明、美術、録音、編集、DIT、CGクリエイターなど制作のプロセスを実践的に学び、さらなる創意と教養を深めていくことを目指している。映画・映像の制作に関心があり、その専門的な技術、知識を修得したいという意欲を持つ人物を求める。</p> <p>【求める学生像】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映画・映像産業に関心があり、映画・映像の将来を担う意欲を持つ人物 ・映画・映像に関わる技術、感性を身に付けたいという人物 ・映画・映像産業という知性と技術の創造物から知識や教養を学びたい人物 ・映画・映像産業を通して得たものを、一般社会に広く還元したいという意欲を持つ人物
<p>舞台芸術学科</p>	<p>舞台芸術学科では、舞台は演者と裏方の共同作業によって成り立っていることを理解すると共に、自身が行き交う分野について厳格な技術の研鑽に励む人物を求める。</p> <p>【求める学生像】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな分野の演者として表現力を磨きたい人物 ・舞台の裏方として専門的な技能を身につけたい人物 ・「舞台人」としての自覚や物事に対する姿勢、考え方を学びたい人物 ・広く社会で求められる礼儀作法や協調性、豊かな人間性を育みたい人物
<p>芸術計画学科</p>	<p>芸術計画学科では、芸術・文化の過去、今、未来を多角的に理解し、作り手、受け手が共に生きる力を増進する創造的な出会いの場を、最新のテクノロジーを視野に入れて構想・実現する総合的なプロデュース力を身につけたいと思う人物を求める。</p> <p>【求める学生像】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芸術・文化に興味を持ち芸術・文化が展開される場に関わる意欲のある人物 ・芸術や文化の力を使って、わくわくドキドキする場の構想・実現を目指す人物 ・芸術や文化の力を使って、積極的に社会や地域の発展に貢献したい人物 ・芸術や文化の力を使って、くらしの在り方を創造的に作り変えることを目指す人物
<p>キャラクター造形学科</p>	<p>キャラクター造形学科では、漫画、アニメーション、ゲーム、フィギュアアーツの各分野でドラマやキャラクター表現を通じて、多くの人々に感動を与える存在になりたい人物を求める。</p> <p>【求める学生像】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生時代を「能力と可能性を高め表現力を鍛える時期」と捉え自己研鑽できる人物 ・自分の世界観を伝える技術、能力を高め、社会的視野を広げたい人物 ・キャラクター創造のための総合的な知識・技術を身につけたい人物 ・さまざまなメディアを使ったキャラクター・プロデュースに興味のある人物
<p>音楽学科</p>	<p>音楽学科では、いつの時代も人間社会に潤いをもたらしてきた音楽の素晴らしさや多様性を学び、新しい音楽の創造者、音楽教育の指導者になりたい人物を求める。</p> <p>【求める学生像】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽を通して美を追究する創造力のある人物 ・音響技術を駆使して音楽をより豊かにしたい人物 ・既成概念にとらわれず音や音楽と向き合いたい人物 ・音楽教育の指導者として将来活躍したい人物
<p>演奏学科</p>	<p>演奏学科では、「クラシック」「ポピュラー」それぞれのジャンルで演奏家や指導者、又音楽のよき理解者として社会で活躍できる人間味豊かな人物を求める。</p> <p>【求める学生像】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽の各分野における知識や技術を修得したい人物 ・奏者としての感性や表現力を磨きたい人物 ・演奏研究を学ぶことに興味・意欲のある人物 ・音楽に対して情熱と愛情を持つ人物

初等芸術教育学科	<p>初等芸術教育学科では、美術や音楽、芸術療法等の学びを通して子どもに「生きる力」を育むことのできる教育者を育成する。そんな力を身につけて社会で活躍したい人物を求める。</p> <p>【求める学生像】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どものこころを感じる力をもった保育士、幼稚園・小学校教諭になりたい人物 ・芸術療法の基本や考え方を勉強してみたい人物 ・芸術を通して、人間同士のこころの絆を深めるかかわりを築いていきたい人物 ・教育現場の諸課題に対して、主体的に対応できる力を身につけたい人物
アートサイエンス学科	<p>アートサイエンス学科では、最先端科学技術をベースに、社会・地球環境課題に対して、アートで社会的メッセージを送ることができ、研究で技術的解決の可能性を示す社会変革アートに挑戦してみたい人物、または、想像力を掻き立て、没入感があり、ワクワク楽しくなるメディアアートを創造してみたい人物を求める。</p> <p>【求める学生像】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アート系と理工系の療法のスキルを身につけたい人物 ・アートと研究の両方から社会・地球環境課題を解決したいと思っている人物 ・アバター、ロボット、A I、脳科学などの最先端科学技術で人間能力を拡張して、「社会に役立つアート・研究」に挑戦してみたい人物 ・プロジェクトマッピングを使ったメディアアートを創造したい人物 ・ゲームシナリオ、サウンド、アバター・ロボット対話など、異なるスキルを持つ人が集まって、インタラクティブに体験できる集団アートに興味がある人物

大学院

大学院	<p>芸術理論研究及び芸術創造の鍛錬に必要な専門知識・思考力及び技術を修得しているかどうかを評価基準とし、研究計画・作品提出、筆記試験・面接試験・実技等により審査する。</p>
博士課程前期課程	<p>芸術研究科は博士課程前期課程に次のような学生を求める。</p> <p>〈芸術文化学専攻〉 芸術及び文化の諸分野に深い関心をもち、芸術理論研究に必要な専門知識及び論理的思考力を備えており、自らの学術的研究を社会との関わりにおいて展開していく意欲をもっている人物。</p> <p>〈芸術制作専攻〉 各自の専門領域における芸術創造に必要な専門知識と技術を備えており、その知識と技術を生かして現代社会において独自の芸術創造の方向を深めていく意欲と能力をもっている人物。</p>
博士課程後期課程	<p>芸術研究科は博士課程後期課程に次のような学生を求める。</p> <p>〈芸術専攻〉 各研究分野（芸術文化学・芸術制作）における芸術理論研究及び芸術制作の深化に必要な専門知識・思考力及び技術を備えており、各自の専門領域において既存の価値観にとらわれず、先進的な芸術を創造・構築していく情熱と遂行力をもっている人物。また各領域における指導的な立場を目指す人物。</p>